

# 地球温暖化への対応



## 山形にカンキツ類？

「地球温暖化」と聞くところのように防止するかといイメージだが、山形県では平成22年3月に「地球温暖化に対応した農林水産研究開発ビジョン」を策定し、「適応策」「防止策」に加え、「活用策」についても研究開発を進めている。

温暖化が、このままのペースで進むと仮定すると、2060年代には飛島を含む山形県庄内地域がカンキツ類などの栽培適地になるとの予測もあることから、県では長期的な視点に立ち、各種暖地型の品目について、本県への導入の可能性の検討を開始した。

そこで、庄内総合支庁産地研究室では、平成22年、酒田市飛島に温州みかん、すだち、タンゴール、ゆず、レモンの5種類を定植した。最初の2年程度は、木を育てるため、花は摘み取り、果実は実らせず、3年目を以降徐々に実をつけるようにした。5年目の昨年度は全ての樹種に実がなり、収穫ができた。収穫時期は、それぞれの栽培地よりも遅く、すだちは9月中下旬、タンゴールやレモンは3月に収穫となった。

これまでの試験では、すだちは生育が順調で品質も良好であった。温州みかんやタンゴールは、酸っぱく食味不良であった。

地球温暖化というとマイナスのイメージばかりだが、「活用」という考え方によっては、新たな試みも生まれてくる。山形のカンキツ類が今後どのように展開していくのか、注目していきたい。



## ～カンキツ類の花～

カンキツ類の花というとなかなか見ることがなくイメージがないが、ほとんどが白い花を咲かせる。また、種類によっては、花の時期から良い香りがするものもある。



## ～冬はどうしているの？～

飛島が温暖な気候といっても冬はやはり厳しい・・・

越冬するためには、樹全体を雪囲いする必要がある。

この作業や施肥、薬剤防除などの栽培管理は、庄内総合支庁産地研究室で行っている。

## 地球温暖化による農業への影響

水稲・畑作物への影響

- ・高温による収量の減少や品質低下
- ・病虫害や雑草発生様相の変化

果樹への影響

- ・高温による開花時期の変化
- ・高温による休眠覚醒時期の遅延 など

## 地球温暖化による農村への影響

水への影響

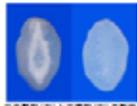
- ・積雪減少による河川水位変化
- ・海面上昇による排水機能の低下 など

農業農村整備における地球温暖化対応策のあり方(農林水産省HP)

**農業への影響(例)**

**水稲**

・登熟期(出穂・開花から収穫までの間)の高温等による白未熟粒(デンプンが十分に詰まらず白く濁ること)の発生

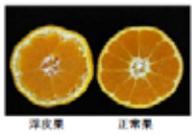


白未熟粒(左)と正常粒(右)の比較

**果樹**

・高温・多雨により、うんしゅうみかんの果皮と果実が分離する「浮皮」の発生

・高温により、着色が遅延する「着色不良」の発生



浮皮果 正常果



着色不良果 正常果

**野菜**

・高温により、トマトの赤色色素の生成が抑制される「着色不良」の発生



着色不良果 正常果

持続的な産地の確立に向けた生産現場における技術的リスクマネジメント(農林水産省HP)

飛島柑橘類についての問い合わせ先 庄内総合支庁農業技術普及課産地研究室 0234-91-1250

## 🍋 スダチって?? 🍋

- ・酸味、香りが強いカンキツ類。
- ・料理の調味料や薬味として焼き魚等に果汁を絞って使用されている。ジュース等の加工品もある。
- ・クエン酸やビタミンCが多く含まれ、疲労回復、食欲増進、風邪予防や美肌に効果がある。

**近い将来、庄内浜の魚に山形県産スダチを添えて食べる日がやってくるかも!!**